



街づくりの
魂の
おもしろい
イベント

SUN RISE

2023年10月発行



発行元／連絡先

【さいとう英彰 事務所】

〒319-1221 日立市大みか町 1-34-3

TEL 0294-52-4440

FAX 0294-53-1514

社内便（お）労組 齋藤英彰 宛

【自宅】

〒319-1417 日立市かみあい町 2-13-11

TEL (FAX 兼) 0294-42-6504

E-Mail hmnr6504@biscuit.ocn.ne.jp

茨城県議会議員 さいとう英彰 県政だより／第51号

「夢のある活気あふれる街づくり」をめざして

令和5年 第3回定例会報告 ～9月補正予算案について～

茨城県議会<令和5年 第3回定例会>が8月31日から9月26日まで開催されました。基本的な考え方について、P2にてご報告しています。

令和5年度9月補正予算案の基本的な考え方は、原油価格・物価高騰を機に、本県の特産物であるメロンに着目した支援事業や、特別支援学校の新設をはじめとした県政の課題等への対応、本年6月の大雨からの災害復旧など社会資本の整備に必要な予算のほか、台風13号による住宅の応急修理などに必要な経費や、生活再建に向けた支援、被災した中小企業の負担軽減や社会福祉施設等の復旧、公共土木施設の応急復旧など、緊急性が高い事業について、スピード感をもって計上するものとなります。

(単位：百万円)

区分	現計 A	今回補正予算〔既提出分〕 B	補正予算〔追加分〕 C	補正後 計 A+B+C
一般会計	1,300,857	6,605	2,084	1,309,546
特別会計	458,330	—	—	458,330
企業会計	163,851	4,628	—	168,479
合計	1,923,038	11,233	2,084	1,936,355

今回の補正予算に係る所要の一般財源については、前年度からの繰越金を充当した。

保健福祉医療委員会報告

9月14日、保健福祉医療委員会において質疑を行いました。その一部を抜粋してご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症における今後の取組みについて

Q 議員／5類感染症に移行して4ヶ月ほど経過したが、感染者が非常に増えている。今後どのように取り組むのか。

A 島津中央病院長／5類になったことで、現在は通常医療に大きな影響は出ていないが、今後、感染者が増加してフェーズも移行すると、病床や看護師等の確保が必要になるので、定点当たり報告数を注視しながらしっかり対応していきます。

紹介受診重点医療機関と地域医療支援病院について

Q 議員／紹介受診重点医療機関と地域医療支援病院は、どのような違いがあるのか。

A 藤井医療政策課長／紹介受診重点医療機関が外来医療、医療機能を役割分担する制度で、地域医療支援病院はそれらに加え、医師の少ない地域を支援する制度になっています。

こども家庭センターの設置について

Q 議員／来年4月に26市町村で開設されるこども家庭センターでの具体的な支援策を伺う。

A 今泉青少年家庭課長／子育て家庭への家事育児支援、親御さんのためのペアレントトレーニングやショートステイなど、様々なメニューを県や市町村と連携して取り組んでいきます。



▲保健福祉医療委員会で質問する齋藤議員

令和5年度 9月補正予算案

今回の補正予算では、本県の特産物であるメロンに着目した新たな支援や特別支援学校の新設をはじめとした県政の課題等に112億3,300万円が計上されました。その他、台風13号による甚大な被害に対応するため追加提案された緊急性が高い支援や事業について、ご報告いたします。

メロン産地新市場開拓チャレンジ事業(新規)

【令和5年9月補正予算額 2,300万円】

「日本一のメロン県」の地位を確固たるものとするため、贈答用需要が高まる年末の出荷に新たにチャレンジするとともに、海外マーケットに対応した残留農薬基準を満たす商品づくりなどの取組みを支援します。

【事業内容】

- ブランド強化に向けた生産・流通対策…1,000万円
 - お歳暮需要対応の生産技術実証及びパッケージ開発
 - 春メロンの生産技術開発に向けた施設等整備
- 輸出拡大に向けた安定生産対策…1,300万円
 - 輸出先国(米国等)が求める残留農薬基準等に対応する生産技術の実証
 - 品質の安定化によるロス率低減に向けた施設の整備

ひたちなか地区土地造成事業

【令和5年9月補正予算額 46億2,800万円】

ひたちなか地区においては、複数企業からの確実性の高い産業用地取得要望を踏まえ、現在常陸那珂工業団地の「第1期拡張地区」の整備を推進しています。新たな引合があることから、県施行による「第2期拡張地区」の開発を行います。

【事業概要】

- 常陸那珂工業団地「第1期拡張地区」の整備推進…45億4,800万円
- 常陸那珂工業団地「第2期拡張地区」の開発着手…8,000万円

介護施設等感染拡大防止事業

【令和5年9月補正予算額 20億100万円】

感染者等が発生した介護施設等に対し、サービスを継続するためのかかり増し経費や、医療機関の負担軽減を図るための施設内療養費用を支援します。

〈補助先〉

感染者等が発生した施設及び施設内療養を行った入所施設等

〈補助対象〉

- ①消毒・清掃費用、割増賃金・手当、宿泊費等 ②衛生用品の購入費用等 ③施設内療養に要する費用(1名につき最大30万円)等

〈事業予算を拡充 20億100万円〉

- ①国の補助制度継続分…11億4,100万円
②今後の感染拡大への備え…8億6,000万円

(仮称)神栖特別支援学校整備事業(新規)

【令和5年9月補正予算額 2億5,800万円】

神栖市域から長時間かけて鹿島特別支援学校に通学する児童生徒の通学に係る心身の負担軽減を図るため、神栖市内に特別支援学校を新設します。

- 通学区域 神栖市
- 学部 小学部、中学部、高等部
- 規模 約150人・35学級
- 設置場所 神栖市須田地内(神栖市若松運動場隣接地)
- 開校目標 2027年(令和9年)4月
- 効果 最長通学距離・時間が半減
約40km・80分 → 約20km・40分

令和5年9月補正予算案の追加提案概要

【令和5年9月補正予算額 20億8,400万円】

〈主な事業〉

(1)生活再建支援

- 災害救助費(災害救助法に基づく避難所の設置や住宅の応急修理などの経費)…4億7,800万円
- 〈新規〉災害弔慰金等補助事業…800万円
- 災害援護資金貸付事業(災害弔慰金の支給等に関する法律に基づく被災者への災害援護資金の貸付)…5,700万円
- 被災者生活再建支援補助事業…5,500万円
- 県災害見舞金支給事業…300万円
- 感染症予防医療法施行事業…100万円

(2)中小企業への支援

- 中小企業融資資金貸付金…5億6,400万円(融資枠:1,690)
- 中小企業信用保証料助成…1,400万円
- 緊急対策融資利子補給事業(被災した中小企業に対する災害対策融資枠の拡充及び利子補給等)…100万円

(3)災害復旧事業

- 〈新規〉県立学校校地等災害復旧事業(被災した県立高等学校のグラウンドや法面の復旧等)…1億3,300万円

選挙公約の進捗について

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に下がり、コロナ禍で影響のあった公約についても、少しずつ挽回を図るべく活動を進めております。国や市町村と連携しながら一つひとつ課題を克服し取組みを前進させてきましたので、その状況をお伝えいたします。

徹底した行財政改革

◆これまでの課題

茨城県では毎年の借金が増え、県債残高(21,438億円)の総額が増加傾向
 ・プライマリーバランスはぎりぎり黒字(平成26年度: +15億円)、平成26年度将来負担比率237.1%(全国ワースト9位: 全国平均187.0%)

◆これまでの実績

- ① 茨城県議会改革(議員定数: 63名 → 62名)
 「県議会改革推進会議」にて定数を3増4減(1名削減)する案が平成28年第4回定例会にて可決し、日立市は5 → 4議席(1名削減)
- ② 行政側の視点(平成7年度~7次にわたり行財政改革を実施) → (21,092億円)
 プライマリーバランスは徐々に改善(令和元年度: +1,111億円)、令和元年度将来負担比率204.0%(全国ワースト18位: 全国平均172.9%)

今後注力する活動

- 目標に対する評価、分析(改革PDCAサイクル)を代表質問・一般質問や常任委員会を通じて、詳細な進捗状況の確認や効果の検証を行う。
- 具体的削減数値(効果)を費用対効果の見える化を実践

地域医療の再生と安全・安心な地域づくり

医師確保と偏在の是正による地域医療の充実

◆これまでの課題

人口10万人当たりの医師数: 平成26年度
 ・茨城県: 177.7人 → 全国46位(全国平均: 244.9人) ・日立市: 168.5人

◆これまでの実績

- ① 地域医療再生に伴う医師の確保
 ・令和4年 日立製作所日立総合病院 産婦人科医: 7名、小児科医: 9名
 ◆地域周産期母子医療センターが再開(令和3年4月)
 整備費用 → 令和2年度: 1億3,378万円
 (施設分9,240万円、設備分4,138万円)
 整備内容 → NICU3床(病棟改修、人工呼吸器整備等)
 令和3年度: 907万円(運営費補助・国補)
 ◆ハイリスク分娩(切迫早産、妊娠高血圧症候群など)の母体搬送受け入れを再開(令和4年4月)
 救急医療対策事業費 → 令和5年度: 1.1億円
 (救命救急センター運営費: 0.8億円、地域周産期母子医療センター運営費: 0.2億円、その他: 0.1億円)
- ② 人口10万人当たりの医師数: 令和2年度
 ・茨城県: 193.8人 → 全国46位(全国平均: 269.2人) ・日立市: 183.9人

今後注力する活動

- 国会議員と連携を図り、継続した国からの予算化を要望
- 医師会などとの定期的な政策懇談会を継続実施

国とのパイプを活かしたインフラの整備

◆これまでの実績

- ① 国道6号日立バイパスの整備(日立市田尻町~河原町10.5km)
 ・平成20年3月 日立市旭町~田尻町(L=4.7km) 暫定2車線供用
 ・平成24年 日立市旭町~国分町(L=3.0km) 日立バイパスII期
 ⇒ 全体事業費: 240億円 令和5年度: 5.08億円(用地買収他)
- ② 国道6号大和田拡幅
 ⇒ 全体事業費: 約121億円 令和5年度: 13.75億円(用地買収他)
- ③ 国道245号線
 久慈大橋: 令和5年度: 1億円(予定)(用地測量)
 日立港区北拡幅: 令和5年度: 2.97億円(予定)(用地買収他)
- ④ 鮎川停車場線
 ⇒ 全体事業費: 約95億円(東工区: 77.8億円 西工区: 17.5億円)
 令和5年度: 0.5億円(工事他)

今後注力する活動

- 緊急輸送道路としての機能強化・津波による沿岸市街地の被害軽減の観点からも緊急整備の必要性を強く提言
- 新規事業化に向けて国・県・日立市の連携強化(未事業区間: 国分町~河原町2.8kmの事業化促進)

子どもを産み、育てやすい環境の整備

◆これまでの課題

- ① 子どもの医療費無料化(平成26年10月~)
 ・外来: 0歳~小学校6年生まで
 ・入院: 0歳~中学校3年生まで
- ② 35人学級の着実な実現
 ・小学校6年生まで
 35人超3学級以上 … 1学級増設: 担任 + 非常勤講師各1名
 配置
 35人超1・2学級 … 学級毎に非常勤講師を配置

◆これまでの実績

- ① 子どもの医療費無料化(平成30年度31億円の予算化)
 ・入院: 高校3年生まで適用拡大
 (平成30年10月~)
 ・令和5年度: 25.68億円
- ② 少人数教育充実プラン推進事業
 ・中学校3年生まで適用拡大
 (平成30年度~1億9,000万円)
 ・令和5年度: 10.78億円



今後注力する活動

- 各市町村議員との連携による現場の声の収集

◆これまでの課題

公立学校耐震化の推進(平成26年4月)
 ・小中学校: 84.3%(全国平均: 92.5%) 全国40位
 ・高等学校: 87.5%(全国平均: 90.0%) 全国31位
 ・日立市 : 74.2% 高萩市 : 48.1% 北茨城市: 73.5%

◆これまでの実績

公立学校耐震化の推進(令和4年8月)
 ・小中学校: 99.9%(全国平均: 99.7%) 全国26位
 ・高等学校: 100%(全国平均: 99.4%) 全国1位
 ・日立市 : 99.4% 高萩市 : 100% 北茨城市: 100%

今後注力する活動

- 『茨城県耐震改修促進計画(平成28~令和3年度)』に基づき耐震補強の前倒しについて継続して提言
- 定期的な耐震化計画の進捗状況確認(市町村の施設)

皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。

直近の主な活動

(7月～10月 活動の一部をご報告いたします)

- 7月 9日 「大井川知事」県政報告会
- 7月 15日 連合茨城医福労連学習会
- 7月 19日 保健福祉医療委員会・県外調査
- ～21日
- 8月 8日 高萩事務所土木ヒアリング
- 8月 15日 日立市「平和集会・平和行進」
- 8月 18日 保健福祉医療委員会
- 8月 25日 茨城県戦没者追悼式
- 8月 29日 日立駅頭挨拶
- 8月 31日
- ～ 令和5年第3回定例会
- 9月 26日
- 9月 1日 常陸多賀駅頭挨拶

- 9月 15日 県議会台風13号被災現場視察
- 9月 16日 台風13号災害ボランティア活動
- 9月 17日 台風13号災害ボランティア活動
- 10月 7日 列島クリーンキャンペーン



▲平和行進

▲列島クリーンキャンペーン

編集後記

県政だよりの名称は『日立市を元気にしたい、県北地域を活性化させたい』という思いを込めて、明るい希望である朝日をイメージして「SUN RISE」と名付けました。

日頃のご支援・ご指導に感謝申し上げます。

はじめに、9月8日に発生した台風13号の被害により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

日立市では、線状降水帯の発生により降りはじめからの総雨量が、282ミリと観測史上最大の降水量となり、中小河川が溢水し日立市役所なども浸水により電源喪失となりました。

頻発化、激甚化する自然災害に対し、改めて防災の取組みを強力に進めてまいります。

令和5年 第3回定例会が閉会しました。

今回提出された一般会計補正予算は、原油価格・物価高騰を機に、本県の特産物である干し芋やメロンに着目した新たなチャレンジを支援するための事業や県政の課題等への対応のほか、追加補正予算として、今回の台風13号により県民の日常生活に甚大な影響が生じていることから、住宅の応急修理などに必要な経費や、生活再建に向けた支援、被災した中小企業の負担軽減や社会福祉施設等の復旧、公共土木施設の応急復旧など緊急性が高い事業についてスピード感を持って予算計上されたものです。

今後も、「安全・安心の地域づくり」を進めながら、「活力があり、県民が日本一幸せな県」をめざして、全力を尽くしてまいります。

(茨城県議会議員・齋藤 英彰)



皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。